

3-2-2 景観

(1) 調査目的

景観については、新たな工作物等の出現がもたらす景観の状況を把握するため、事後調査を実施した。

(2) 調査対象

調査対象は、環境影響評価に係る調査、予測及び評価で対象とした主要な眺望景観の変化とした。

(3) 調査方法

写真撮影により実施した。

(4) 調査地点

調査地点を図 3-2-2.1 に示す。調査地点は環境影響評価に係る調査で実施した地点と実行可能な範囲で同一のものとし、代表的な地点である山城総合運動公園（L3）とした。

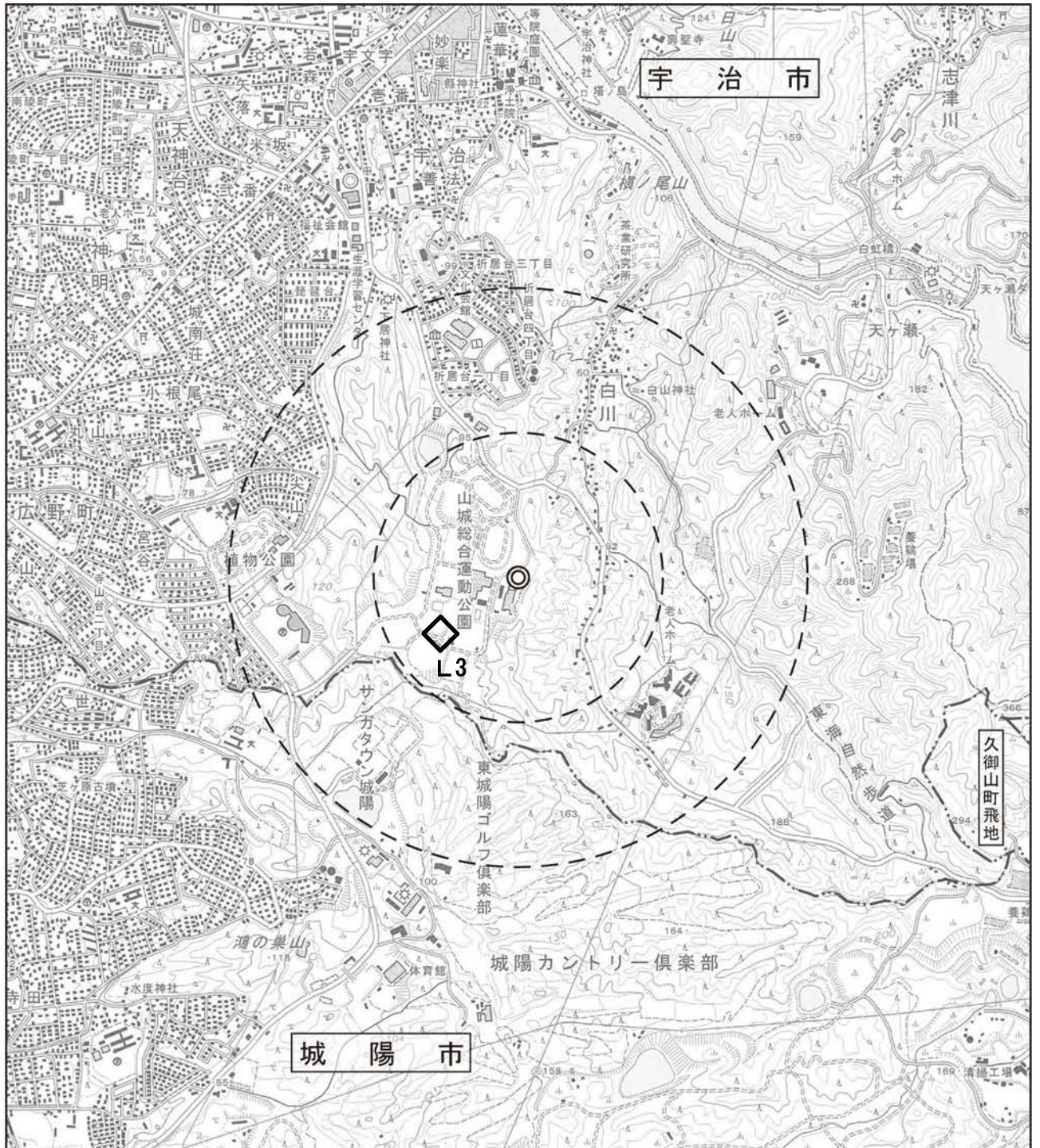
(5) 調査日

調査日を表 3-2-2.1 に示す。

なお、調査日は建設工事が完了した平成 30 年 3 月 31 日以降とした。

表 3-2-2.1 調査日

地点	調査日
山城総合運動公園	平成 30 年 12 月 22 日

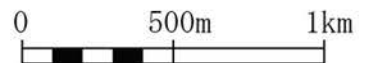


凡例 ◎ 事業地 - - - 市町界

◇ : 景観 (事業地周辺1地点)



1:25,000



この地図は、国土地理院発行の2万5千分1地形図を使用したものである

図3-2-2.1 景観調査地点

(6) 調査結果

事業地周辺の主要な眺望点の状況を表 3-2-2. 2、その写真等を表 3-2-2. 3 に示す。

表 3-2-2. 2 主要な眺望点の状況

地点	位置	概要	事業地との位置関係			標高(m)
			方位	距離(km)	距離ランク	
L3	宇治市 広野町八軒屋谷	事業地の西側に位置する山城総合運動公園の第 2 野球場バックネット裏左横である。 同公園は、スポーツ及びその観戦等をする不特定多数の人に利用されている。	東北東	0.45	近景	127

※「方位」は、撮影の方向（撮影地点から事業地の方向）を 16 方位で表した

※「距離」は、調査地点から工場建屋の中心付近とした

※「距離ランク」は、近景（約 0.5km 以内）、中景（約 0.5km～約 3km）、遠景（約 3km 以遠）で表した

※「標高」は、国土地理院の基盤地図情報（電子国土 web）の数値標高データから求めた

表 3-2-2.3 事業地周辺の主要な眺望景観の状況 (L3)

眺望景観の状況	L3	場所	山城総合運動公園		
事業地の眺望					
平成 30 年 12 月 22 日撮影					
↓は更新施設の煙突を示す。↓は、旧施設の煙突を示す。					
眺望点の状況					
山城総合運動公園第2野球場バックネット裏左横。					
事業地中心からの距離：0.45km、標高：127m					
[写真撮影データ：H30.12.22/レンズの焦点距離 35mm(35mm フィルムサイズ換算値)]					
事業地との位置関係					
景観構成要素					
主要な構成要素	グラウンド	外野スタンド	旧施設	更新施設	公園植栽
大きさ (視率)	大	大	中	中	中
色彩	淡褐色	淡褐色	白色	白色	暗褐色
構成・印象	野球場のグラウンドが広がり、その奥の芝生外野スタンドと植栽の緑が目に入り、植栽奥から旧及び更新施設の建屋及び煙突が現れる。				
事業地の景観上の機能	事業地の敷地面は公園の植栽に覆われて目視出来ないが、旧施設は全体が、更新施設は建屋の一部と煙突が視認できる。				

(7) 評価

環境影響評価時の、眺望点からみた景観の予測図（フォトモンタージュ）を図3-2-2.2に示す。表3-2-2.3の施設周辺の眺望景観と比べると、旧施設が存在しているが令和元年度には解体が完了予定であり、事業地は、山城総合運動公園が位置する丘陵地の東端にある。本眺望点において、更新施設の出現がもたらす眺望景観上の著しい変化はないものと考えられる。



図3-2-2.2 眺望点からみた景観の予測図（環境影響評価時のフォトモンタージュ）